

製品名: Bek ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07533**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	120kDa

抗原情報

遺伝子名	FGFR2
別名	FGFR2; BEK; KGFR; KSAM; Fibroblast growth factor receptor 2; FGFR-2; K-sam; KGFR; Keratinocyte growth factor receptor; CD antigen CD332
遺伝子 ID	2263.0
SwissProt ID	P21802
免疫原	抗血清はヒト FGFR2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 471-520

背景

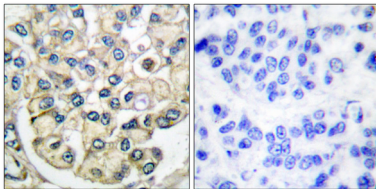
この遺伝子によってコードされるタンパク質は線維芽細胞増殖因子受容体ファミリーのメンバーであり、アミノ酸配列はメンバー間

および進化を通じて高度に保存されています。FGFR ファミリーのメンバーは、リガンド親和性と組織分布において互いに異なります。代表的な全長タンパク質は、3つの免疫グロブリン様ドメイン、1つの疎水性膜貫通セグメント、および細胞質チロシキナーゼドメインからなる細胞外領域で構成されています。タンパク質の細胞外部分は線維芽細胞増殖因子と相互作用し、下流シグナルのカスケードを開始させ、最終的に有糸分裂誘発と分化に影響を与えます。このファミリーメンバーは、アイソフォームに応じて、酸性、塩基性、および/またはケラチノサイト増殖因子に対する高親和性受容体です。

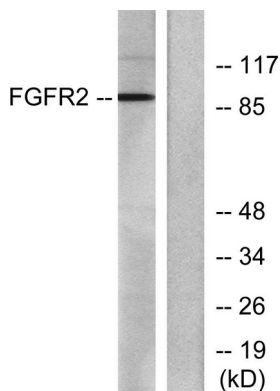
研究分野

MAPK_ERK_Growth;MAPK_G_Protein;エンドサイトーシス;アクチンと細胞骨格を調節する;がんにおける経路;前立腺がん;

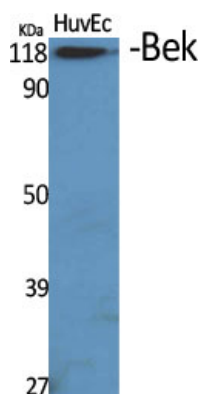
画像データ



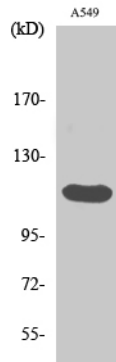
FGFR2 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



FGFR2 抗体を用いた A549 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



Bek ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



Bek ポリクローナル抗体を用いた A549 細胞のウェスタンブロット解析